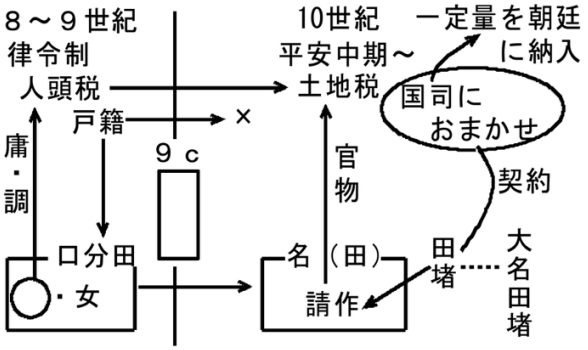
Ⅰ

問１



問８

延喜・天暦の治

うだいすきな村上君

- 宇多（寛平）――遣唐使の廃止（894）
- 醍醐（延喜）――最後の班田（902）　『日本三代実録』（六国史の最後）
  延喜格式（三代格式の最後）
- 朱雀――藤原忠平（摂政・関白）
- 村上（天暦）――乾元大宝（最後の皇朝十二銭）

Ⅱ

問１

武家諸法度（※将軍代替わりごとに発布）

●元和令（1615）―２代秀忠　起草者・金地院崇伝

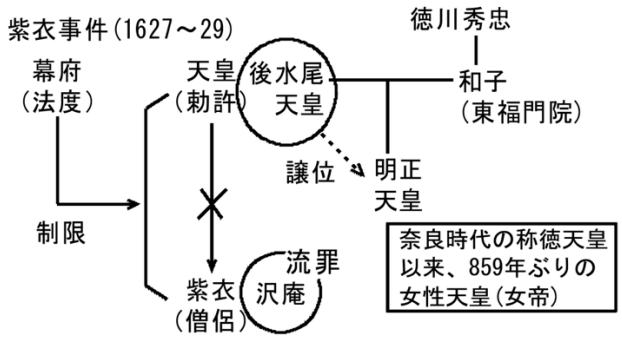
文武の奨励・城の補修の制限・自由婚姻の禁止など

●寛永令（1635）―３代家光　起草者・林羅山

参勤交代の制度化－国元と江戸を１年交代で往復（妻子は江戸）

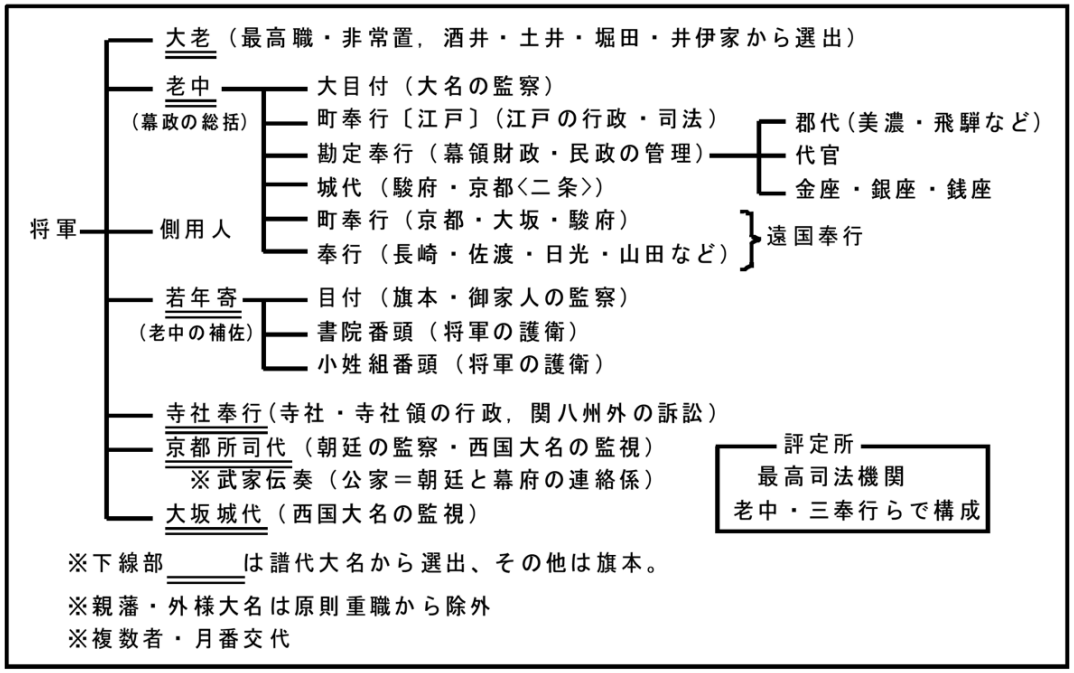
※交通路・江戸の発展・大名の経済力削減

問４



問７

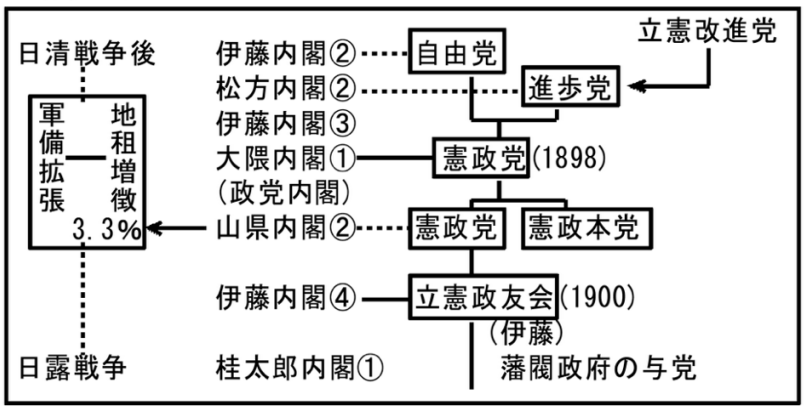
江戸幕府の職制（３代将軍家光の時代に整備）



Ⅲ

問１

日清戦争後の政治



問２

●日英同盟協約（1902 年）　第１次桂太郎内閣

両締約国ハ相互ニ[A=清　国]及[B=韓　国]ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ該二国孰レニ於テモ全然侵略的趨向ニ制セラルルコトナキヲ声明ス然レトモ両締約国ノ特別ナル利益ニ鑑ミ即チ其利益タル[C=大不列顛国]ニ取リテハ主トシテ[A=清　国]ニ関シ又日本国ニ取リテハ其[A=清　国]ニ於テ有スル利益ニ加フルニ[B=韓　国]ニ於テ政治上並ニ商業上及工業上格段ニ利益ヲ有スルヲ以テ両締約国ハ若シ右等利益ニシテ列国ノ侵略的行動ニ因リ若クハ[A=清　国]又ハ[B=韓　国]ニ於テ両締約国孰レカ其臣民ノ生命及財産ヲ保護スル為メ干渉ヲ要スヘキ騒動ノ発生ニ因リテ侵迫セラレタル場合ニハ両締約国孰レモ該利益ヲ擁護スル為メ必要欠クヘカラサル措置ヲ執リ得ヘキコトヲ承認ス

※日本は韓国を確保，イギリスは清国利権確保のため締結

問 7

■軍部大臣現役武官制の推移

軍部大臣現役武官制—1900 年　第２次山県有朋内閣

※第２次西園寺公望内閣倒閣に利用（２個師団増設問題）

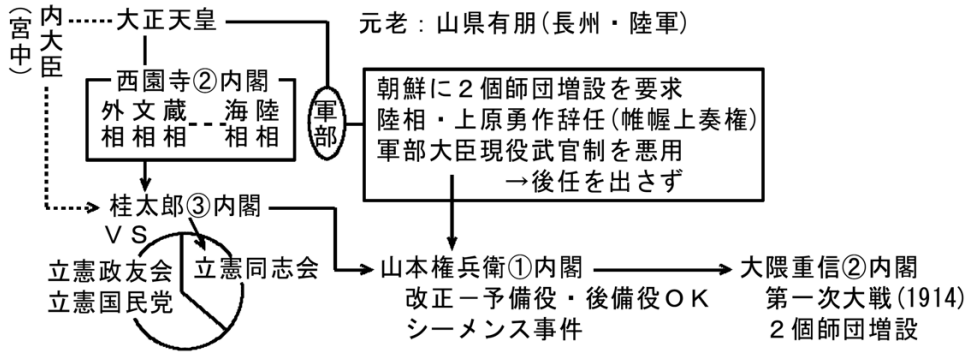
現役制の廃止（予備役・後備役にも拡大）—1913 年　第１次山本権兵衛内閣

※実際の運用では政党員や予備役・後備役などから任用された例はない

現役制の復活—1936 年　広田弘毅内閣（二・二六事件の影響）

※宇垣一成流産内閣

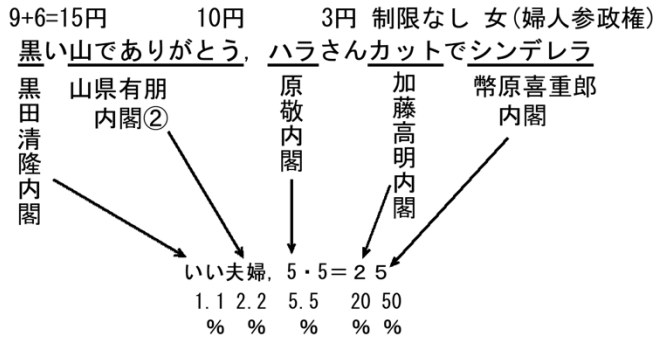
※米内光政内閣倒閣（1940 年）



問 13

選挙法改正の推移

公布年	内閣	直接国税	選 挙 区	性 別 年 齢	全人口比	実施（内閣）
1889	黒田清隆	15 円以上	小選挙区	男子 25 歳以上	1,1%	1890（山県有朋①）
1900	山県有朋	10 円以上	大選挙区	〃	2,2%	1902（桂太郎①）
1919	原　　敬	３円以上	小選挙区	〃	5,5%	1920（原敬）
1925	加藤高明	制限なし	中選挙区	〃	20,8%	1928（田中義一）
1945	幣原喜重郎	〃	大選挙区	男女 20 歳	50,4%	1946（幣原喜重郎）



問 15

普通選挙法制定と実施

